



水性パーフェクトシーラー

透明

ホワイト

各種無機系・有機系素材に対応可能なシーラーです。
弱溶剤シーラーで培った付着技術を水性で実現!

両下地に対応!
無機
有機

■ 特長

① 多用途

無機、有機ハイブリッド技術により開発された特殊樹脂の効果により、従来のモルタル、コンクリート、木部、に加え、各種サイディングボードを含めた多くの外壁素材に幅広く対応します。

※下記適用下地以外のものは対応できない場合があります。

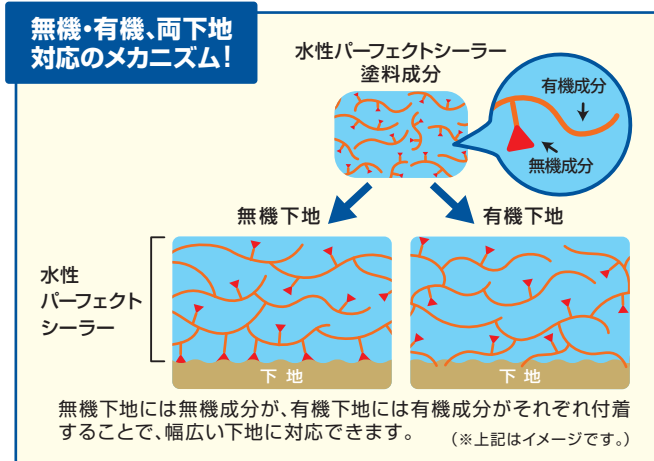
② 浸透 + 高付着

各種下地に対して高い浸透性と含浸補強性を持つとともに、高い付着力が発現します。

③ 高意匠サイディングボード※対応

これまで無機や親水表面処理が施された高意匠サイディングボードでは、下地の活性状態によって、下塗りシーラーの付着性が十分に発揮されないケースがありました。水性パーフェクトシーラーは窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されにくく、各種外壁材に対応可能です。

※高意匠サイディングボードとは新築時に「高耐候」や「超低汚染」の目的で無機成分により表面処理された意匠性の高いサイディングボードを指します。一般的な下塗り塗料では、付着性を十分に確保しにくいことで知られています。



■ 用途

内外壁面・各種素材の新築、塗り替え、各種塗膜の塗り替え塗装の下塗り
(内部に使用する場合は十分に換気を行ってください。)

■ 適用下地

無機系素材									※1 有機系素材		
押出成形セメント	サイディングボード	磁器タイル	モルタル コンクリート	ブロック	PC板	けい酸カルシウム板	ALC	GRC	FRP樹脂	硬質塩ビ	木部

注1) 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいびすタイルなどの特殊なタイルには付着しにくいので、試験塗装にて付着性を確認してください。れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、別途ご相談ください。

注2) 素材の吸い込みにより使用量は異なります。

※1 有機系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。

■ 適用上塗り

水性上塗り塗料	パーフェクトセラミックトップG、パーフェクトトップ、水性シリコンセラUVIほか
弱溶剤上塗り塗料(1液タイプ)⊕	ファインパーフェクトトップ、1液ファインフッソUV、1液ファインシリコンセラUVIほか
弱溶剤上塗り塗料(2液タイプ)	ファイン4Fセラミック、ファインフッソ、ファインシリコンフレッシュ、ファインSiIほか

⊕ 弱溶剤上塗り塗料(1液タイプ)は新設で素材のアルカリが強い場合は避けてください。

ニッペ 水性パーフェクトシーラー™

■塗装基準

- ◆ 希 積 率: 無希釈
- ◆ 混 合 比: 塗料液(主剤):硬化剤= 14 : 1
- ◆ 可使時間: 6時間(気温23℃)

■塗装方法

塗装方法	はけ・ウールローラー塗り	エアレススプレー塗り
使用量	0.10~0.16kg/m ² /回	0.12~0.16kg/m ² /回

- ★上記の数値は標準的な数値です。被塗物の形状・種類・素地の状態・気象条件および測定機器・測定方法により増減します。
- ★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

■施工上の注意 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

1. 適用可能な上塗りについては、カタログをご参照ください。カタログに記載しない上塗りを使用した場合には、不具合が生じる恐れがあるため、適用可否については最寄の営業所にご相談ください。
2. 被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装すると塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
3. 使用量は、濡れ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。
4. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、結着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が発生する場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
5. 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リジン、弾性スタック、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですべて旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗装すると剥れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
6. 吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
7. FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(目直し)を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着しにくい素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。
8. 経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表面内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
9. 本品を塗装する場合は、上・中塗りの透けや塗り残しのないようにご注意ください。また当たり傷などにもご注意ください。上・中塗りに透けや塗り残しまたは当たり傷などがあると紫外線により周辺塗膜が早期に劣化する恐れがあります。
10. 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はく水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイルには付着しにくいので、試験塗装で付着性を確認してください。
11. 透明シーラーは目地部がぬれ色になるまで下塗りを塗装してください。
12. 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
13. 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
14. すでに旧塗膜がある場合は、縮み、はく離を生じることがありますので、クレンしてから塗装してください。
15. 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装すると、溶剤による剥れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
16. 上塗りにクリアー塗料の使用は避けてください。紫外線の透過によりシーラー層が劣化し、はく離の原因になります。
17. 劣化の著しい外部木部については、表層剥離の恐れがありますので、施工は避けてください。
18. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温・高湿度・通風の無い場合には、剥れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きで除去してください。
19. 動物はけは、はげが固まったリタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
20. ほの水性塗料と混合するとゲル化することがありますので、混合したり、はけ、ローラー、エアレス装置などの共用は避けてください。
21. 容器に小分けする場合はポリ容器をお使いください。(鉄製、ブリキ製は腐食します)
22. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
23. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておそれがあります。
24. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。

■容量・荷姿

ニッペ 水性パーフェクトシーラー	15kgセット(塗料液/14kg 硬化剤/1kg) 荷姿/石油缶・扁平缶 色相/透明シーラー(乳白色)・ホワイトシーラー(白色)
---------------------	--

■乾燥時間

	5℃~10℃	23℃	30℃
指触乾燥時間	2時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥時間	6時間以上	4時間以上	2時間以上

★乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地状態によって異なります。

25. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤剥れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
26. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペアフィン浸透シーラーをご使用ください。
27. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
28. やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗面に十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面を十分乾燥させてから塗装してください。
29. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
30. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
31. 素地の乾燥は十分に行ってください。
32. 表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目直し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
33. ALC面・多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ)材カチオンファイラー、ニッペファイラー200などで処理してください。(合成樹脂エマルシアンパテの使用は避けてください。)
34. 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
35. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
36. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
37. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
38. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
39. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
40. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
41. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペパーフェクトNBシーラーを除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りする事で、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
42. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、剥れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気をしてください。
43. 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
44. クロスの塗装は避けてください。
45. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
46. 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
47. 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
48. 塗料は内容物が均一になるようにかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。
49. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
50. 容器漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
51. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項 (ニッペ水性パーフェクトシーラー透明塗料液)

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を入力してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
5. 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください
6. 口をすずいでください。
7. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
8. 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
9. 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
10. ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けてください。
11. 施設して保管してください。
12. 直射日光や水濡れは厳禁です。

13. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
14. 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切かつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
15. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
16. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。



危 険

危険有害性情報

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101	近畿支店 ☎ 06-6455-9608
東北支店 ☎ 022-232-6712	中国支店 ☎ 082-281-2180
関東支店 ☎ 03-5479-3614	四国支店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614	九州支店 ☎ 092-751-9861
中部支店 ☎ 052-461-1960	

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-W083

AA181010T
2018年10月現在